

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホームはなんばの里

施設種類: グループホーム・小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日 時：令和8年5月26日 14時～15時

会場：グループホームはなんばの里

出席者
(人数)

利用者代表	0人	有識者	0人
利用者家族	2人	高齢者あんしん支援センター職員	0人
地域住民の代表	1人	出雲市職員	1人
その他(潮風苑施設長、はなんばの里施設長)			2人
デイサービスセンターやまもも 家族2名 職員1名 ※(デイサービスセンターやまもも運営推進会議との合同会議のため)			

(議題)

1. 利用者状況報告
2. 活動状況報告
3. 今後の行事予定について
4. 令和7年度事業報告について
5. 利用料の変更について

(報告・説明事項) ※グループホームはなんばの里に関するもの

利用者の状況報告	・現入所者数、申込者数、入退所状況、入所者状況、(性別、介護度、年齢) ※前回運営推進会議以降入所1名
活動状況報告	・3月～5月に実施した主な行事・活動の報告 〔お花見週間〕
今後の行事予定について	・かたら団子作り(6月)
令和7年度事業報告について	・令和7年度グループホームはなんばの里事業報告の概要について説明
利用料の変更について	・令和8年6月から変更する利用料(介護職員等処遇改善加算、光熱水費)について説明

(会議の内容…評価、要望、意見、助言等)

○ 家族の代表より

はなんばの里の入所待機者が 10 名おられますが、満床でないのは何か理由がありますか。

⇒ 施設より

ここ数年にないほど待機者が増えました。新年度になり新人職員の入職が2名あり、職員への指導に人手を要することも一つの要因です。実際に入所の話があっても、人手の足りない夕方に離苑される方や常に見守りがないと危険な方など、2名の職員の指導をしながら並行しての入所となると、現場の対応が追いつかないという現状があります。

入所者 15 名で新年度を迎えましたが、可能な限り現場対応と並行して受入対応も行う中、5 月に 1 名の入所がありました。新人職員がはなんばの里での仕事に慣れてきましたので、さらに受け入れの準備をしているところです。6 月 1 日にもう一人入所されることが決まっています。6 月中には満床になる目途がついています。

○ 施設より

令和 8 年度の介護報酬改定において、6 月より職員の処遇改善加算の加算率がアップします。対象がこれまではなかった介護支援専門員などの介護従事者にも拡大されます。これについては、国の方針ですのでご理解いただきたいと思います。またこれとは別に、はなんばの里については、光熱水費の節約に取り組んでいましたが、物価高騰に歯止めが効かず、やむを得ず 6 月から日額 350 円を 600 円に引き上げさせていただくこととなりました。光熱水費の額については、市内の他のグループホームの利用料も参考にして設定しました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。この利用料の変更に関しては、既にご家族等に説明文と同意書を作成し、案内しています。

⇒ 市の職員より

利用料の変更に伴い、ご家族等に周知できるよう色々準備されていてよかったと思います。

(その他)

○ 次回開催予定日 デイサービスセンター やまもも 7 月 2 9 日 (水)